

# あら！めずらしい！

4月も終わりに近づいたある日、「こんな虫見つけたよ。」と、理科室にある昆虫を持ってきてくれました。「あれ、この昆虫ってこの間テレビに出ていた！」



あるテレビ番組で取り上げられていた、**テントウムシ**の仲間ではあ～りませんか

この昆虫は、カメノコテントウという、テントウムシの一種です。  
大きさは10～13mmもあり、テントウムシとしては大きな昆虫です。

でも、食べているエサが、みんなのよく知っているアブラムシではありません。クルミハムシの幼虫やドロノキハムシの幼虫を食べているのだそうです。どちらも木につく虫なので、草むらなどではなく、高い木が生えているところで見つかるようです。

でも、不思議なことがあります。クルミの木もドロノキの木も、本田小学校には生えていません。どこからどうやってきたのでしょうか。

考えられるのは、この4月は風が強い日が多かったということです。強い風に運ばれてきたのかもしれませんが。また、クルミの木の仲間、シナサワグルミが近くの本津川大橋の袂に生えているので、そこで発生しているのかもしれませんが。

まだまだ、いろんな昆虫が見つかるかもしれませんね。